

情報メディア学科「eコマース研究Ⅰ・Ⅱ」での成果が商品化。 携帯電話型ミラー『VIVIDミラー』を開発

女子大学情報メディア学科科目「eコマース研究Ⅰ・Ⅱ」（担当…関口英里准教授）では、模擬的な企業活動を通じてeコマースを体験し、商品の消費者のみならず制作者、販売者の立場からメディア時代の本格的なビジネスを実践的に学習する授業を行っている。活動の主眼を支援企業とのコラボレーションにおき、学生のアイデアを形にする様々な試みを行っている。

支援企業であるギフト製造販売会社の「岩田良」（大阪府八尾市）に対し、これまでにマスコットスタンプ「コンパ」、ブーツスタンプ「スタンドアップ」の商品化協力を行ってきたが、3例目の今回、初めて学生の提案した



独自アイデアが採用され、携帯電話型鏡『VIVIDミラー』が商品化された。

商品を開発したのは、2007年度の授業で「美優館」という仮想企業を立ち上げた6人のグループ。その後、受講者全体で様々な開発協力を行った。女性が美しくなるための商品を開発することを会社の理念に掲げ、商品に選んだのは、女性に必需品である鏡。現在の鏡は両手でしか開けられず、電車で見にくく入った時やメイク時などに、片手ですばやく開けられるミラーがあつたら便利ではとの発想から開発が始まった。片手でワンタッチ開閉できる身近なツールである携帯電話に着目し、折り畳みの仕組みを応用することを考えた。携帯電話会社に直接電話をして構造を問い合わせたり、試作品を作成して使用感についての学内モニタ調査も行った。前年度からの継続開発企画であつた綿棒入れの発想も取り入れ、本体内部に収納部を追加した。綿棒以外にも様々な小物が入られる便利な機能である。細部デザインやネーミングも学生たちが監修された。



VIVIDミラーの折りたたみサイズは幅5cm、長さ10・4cm。ミラーの大きさは縦8・1cm、横4・2cm。高級感を出すため、表面のプラスチックには鏡面仕上げが施され、しつくり手に収まるよう重量感を出すためのプレートが埋め込まれている。この開発に携わった学生は、「ものづくりの難しさと楽しさを実体験することができ、非常にいい経験になった」と語っている。

このVIVIDミラーは、同志社女子大学のオープンキャンパスで高校生に無料で配付しているほか、同志社生協女子大学店で600円（税込）で販売されている。

The Nueva School—同志社 交流10周年記念パーティについて

国際中学校・高等学校
国際教育センター主任
塩見賢司

去る5月16日、カリフォルニアにあるThe Nueva Schoolと同志社の交流10周年を記念し、総長を迎え「からすま京都ホテル」でパーティが行われた。

The Nueva Schoolの留学生が初めて同志社を訪れたのは1998年5月である。2人の生徒と1人の教員が国際中学校で2週間ホームステイをし、日本の生活を体験した。この交流は、The Nueva Schoolの日本語担当教員川崎先生が、日本での受け入れ先を探し、母校である同志社大学の当時の文学部教授、井上勝也（大学名誉教授）先生に打診をされたことから始まる。井上教授は同志社法人内校の一つである国際中学校の当時の校長坂田直三先生に相談をされ、国際交流部主任であった目下部健介先生を窓口交流が具体的に動き出した。翌99年3月、国際中学校の生徒が2週間、カリフォルニアを訪問し、相互交流が実現する。さらに国際中学校・The Nueva School両

校はこのプログラムをより拡大する方向で計画をし、同99年度からは、法人内4中学校の交換プログラムとして再出発をし、現在に至っている。

途中アメリカの同時多発テロやアジアを中心としたSARSの問題など、多くの学校の留学生交換プログラムが、中止もしくは中断を余儀なくされる中、このプログラムは途切れることなく続けられてきている。

パーティ当日は大谷総長の挨拶から始まり、今回残念ながらご参加いただけなかったThe Nueva School校長のDiane Rosenberg先生よりのメッセージを、プログラムに長い間携わってこられたCynthia Kosut先生に代読していただいた。

The Nueva Schoolに総長から記念品としてペナントが贈呈され、The Nueva School側からは4中学に記念品が贈呈された。坂田先生に乾杯のご発声进行いただき、しばしの歓談の後、井

上先生、川崎先生より心温まるスピーチをいただいた。プログラムが始まった当初のご苦労がしのばれただけでなく、様々な逸話が紹介された。

参加者の言語上の便宜を考慮し、司会進行とスピーチは日本語と英語の両方で行われる形となったが、これもまた当プログラムのユニークさを表すものであった。

The Nueva School—同志社 交流10周年記念歓迎会

